

□ 情報提供項目

第73回全国植樹祭いわて2023 サテライトイベントや平庭高原つつじまつりなど各種イベントを市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 25日に開催される特別点検の救出訓練だが、ヘリはどこに飛ぶのか。

市 令和元年度に開催したように、コロナ前に戻すものである。久慈中学校の上流、中洲で救助救出を行う予定である。放水訓練は左岸・右岸両方から行う計画である。

記者 道の駅いわて北三陸だが、開業当時大きな集客があったとのことだが、5月末現在で、開業からの利用状況など把握している範囲で教えていただきたい。

市 道の駅いわて北三陸は、入り口にカウンターを設置している。5月末で来場者は約27万人。レジカウンターの数値、いわゆる利用者数は約7万人である。ゴールデンウィークに比べれば多少落ち着いたところであるが、今なお多くの人を訪れており開業以来好調に推移し、好評であると感じている。なかでも八戸ナンバーの車両が多くみられる。子育てに力を入れているのでイシツブテ公園や屋外遊具も多くの人を訪れ、家族連れが多いのが特徴だと思っている。子育て支援に寄与していると感じている。

記者 あまちゃん放映10周年に絡んで、効果を把握しているものがあったら教えてほしい。

市 まず、ロケ地の小袖海女センターについてであるが、駐車場は県外ナンバーが増えていると感じている。現在、台湾でもあまちゃんが再放送。海女センターを訪れた人を対象に、来場者から「どこから来ましたかシール」を任意で貼っていただいている。2022年は3名だったが、2023年は4月までで9名、中国・台湾からおいでいただいているので効果が出ているのではないかと感じている。また、道の駅パンフレットの補充の回数が増えている。最近だと石川県に住んでいる人からパンフレットを送ってほしいという問い合わせがあった。再放送の効果があるのではないかと感じている。さらに、出張や会議などであまちゃんの再放送を見ていると声をいただく。20代の人にお会いした時は、10代の頃は見ていなかったが、今見ても非常に面白い、と話をいただいた。三鉄の効果もかなり出ていると思っている。久慈にとって再放送は非常に有難く、あまちゃんの効果は大きい。久慈にとって財産だと思っている。アンテナショップも再放送をみて来館いただいた人もいると聞いている。

記者 7月から海女の素潜りもあるが、集客も期待しているところか。

市 素もぐりについての問い合わせも4月以降いくついただいている。市役所や海女センターに問い合わせをいただいている。

記者 津波避難計画だが、8月を目標に策定状況だと伺っているが検討状況について教えてほしい。

市 目標は8月をめどに取り組んでいる。進捗状況についてだが、4月17日から21日の5日間で第1回目の避難計画に係る住民説明会とワークショップを開催した。町内会長や区長、消防団の関係の方から意見をいただき、その内容を踏まえて2回目の住民説明会を来月の中旬に開催しようとコンサルと話を進めている。しっかりと進めて行きたい。